PG-EPOC・CC-EPOCの概要

国立病院長会議　EPOC運営委員会委員長
東京科学大学総合教育研修センター長
岡田英理子

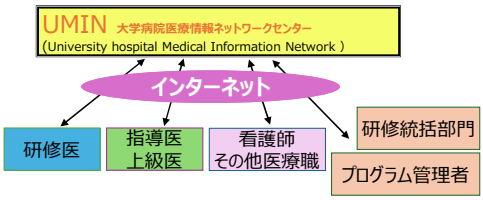
UMIN 教育・研修支援向けサービス説明会

PG-EPOC、CC-EPOCの概要（EPOC運営委員長　岡田英理子）

＊プレゼンは、プレゼン用配布資料（合冊版）を用いて行います。
＊プレゼン用配布資料（合冊版）は、プレゼン用配布資料（分冊版）を単純に合冊して、表紙をつけたものです。
＊プレゼン用配布資料（分冊版）は、オリジナル配布資料から一部を抜粋して作成したものです。
＊プレゼン用配布資料（分冊版）とオリジナル配布資料（分冊版）の枚数が同じ場合には、同一の資料です。
＊UMINについては、UMIN35・30周年記念誌（https://www.umin.ac.jp/umin35/memorial/）もご参照ください。

資料区分	資料内容	プレゼン用配布資料（合冊版）	プレゼン用配布資料（分冊版）	オリジナル配布資料（分冊版）	
全体	大学病院医療情報ネットワーク（UMIN）について		1	1	
EPOC	CC-EPOC、PG-EPOC（EPOC運営委員長　岡田英理子作成）	1	1	1	
EPOC	専門領域別EPOC（SP-EPOC）と汎用 iSpecial EPOC Platform	1	1	1	開発予定
EPOC	講習会等受付管理システム				開発予定
eラーニング	導入事例集（受信した資訊と共通）	1	1	1	
eラーニング	受信し受講者マニュアル		1	1	
eラーニング	受信しコンテンツ提供者マニュアル		1	1	受信したコンテンツ提供者の使い方および受信者の行ディプレゼン資料
eラーニング	受信し受講者マニュアル		1	1	受信した研修者により使い方が異なるためガイド省略
eラーニング	受信したコンテンツ提供者マニュアル		2	2	
eラーニング	受信者サポマニュアル（受信した資訊した者）		1	1	
INDICE	INDICEスタンダード	1	1	1	
INDICE	INDICEスタッフ		1	1	
INDICE	INDICE LibreOpinion		1	1	サービス運営中
INDICE	UMIN Social Research　6　User Research		1	1	
EAD	UMINセンサルサイン（EAD）	1	1	1	プレゼンには期的資料を使用
EDT		10	10	10	

EPOC（ E-POrtfolio of Clinical training ）とは - 2004年開始の臨床教育評価システム



- 厚労省施行通知に準拠の卒後臨床研修評価システム
- 臨床研修医(PG-EPOC)の約9割、CC-EPOCは約35大学が利用する研修管理システム
- 指導上有用な情報(例：研修履歴、コメディカル評価、指導医間の申し送り)の管理が可能

EPOC（ E-POrtfolio of Clinical training ）の変遷

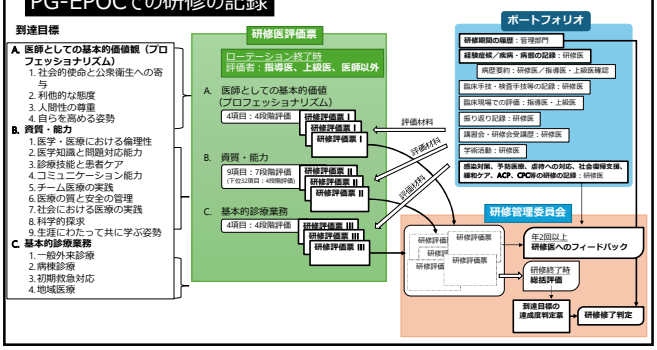
2004年
- 臨床研修制度開始
- EPOC system開発
- Standard EPOC

2010年代
- Minimum EPOC
- 臨床研修目標のチェック機能中心
- 2024年6月運用終了

2020年
- 臨床研修制度大幅改訂
- EPOC2 (PostGraduate-EPOC)運用開始

2022年
- 卒前卒後教育のシームレスな連携
- 卒前診療参加型臨床実習EPOC（CC-EPOC）の開始

PG-EPOCでの研修の記録



卒後臨床研修医用 オンライン臨床教育評価 システム(PG-EPOC)

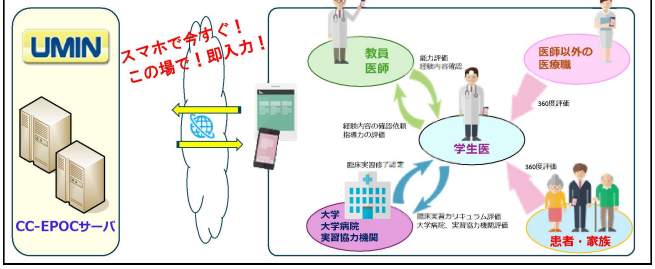
E-POrtfolio of Clinical training for PostGraduates

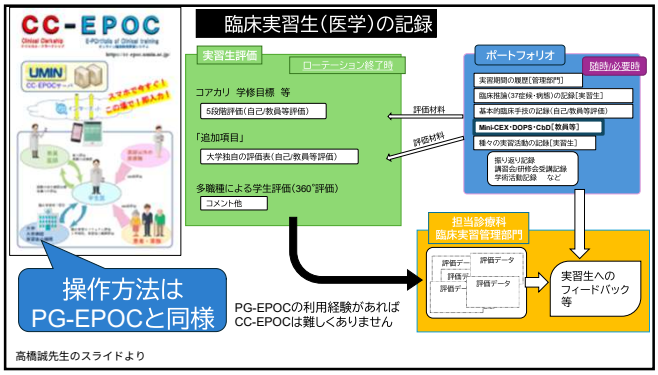
2020年改訂医師臨床研修新制度に対応

- スマートフォンで入力可能
  - ユーザーインターフェースの向上
  - 指導のタイミングを逃さず、その場で入力
- 360度評価票に対応
  - UMIN-IDを持たないメディカルスタッフもQRコードで入力可能
- ポートフォリオ記録機能
  - 研修活動の記録
  - Workplace-Based Assessment（mini-CEXなど）の実施とフィードバック
- **独自評価票の搭載が可能！**

CC-EPOC
医学生の臨床実習の記録をスマホで収集する情報システム

1．卒前臨床実習（医学生）と卒後臨床研修（医師）の経験・能力評価をシームレスに連携
2．患者と家族による医学生評価機能





高橋誠先生のスライドより

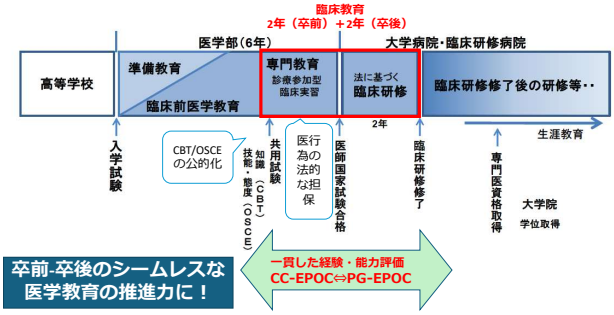
評価項目は医学教育モデル・コア・カリキュラム令和4年度に準拠
診療参加型臨床実習実施ガイドライン「臨床実習の到達目標」

- 診療の基本（「医師として求められる基本的な資質・能力」）（R4年版主項目：10,下位37）
- 医療面接・身体診察・診療録記載（31）
- 臨床推論（症候・病態：37）
- 基本的臨床手技（一般手技：13、検査手技：6、外科手技：4、救急：5）
- Workplace-Based Assessment (Mini-CEX（簡易版臨床能力評価）,CbD, DOPS)

医学生の自己評価
指導医・上級医の他者評価
医学生から上級医への評価依頼

独自評価票の搭載も可能！

シームレスな卒前・卒後医学教育の評価・学習履歴の記録が可能



CC-EPOCとPG-EPOCの連携

CC-EPOCの最終評価値（実習修了時）をPG-EPOCで参照可能
「学生医の自己評価」「担当教員の評価（匿名）」が対象

- ➡ 診療の基本　→ 評価票Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ
- ➡ 基本的臨床手技

臨床研修プログラムへの情報提供の手順

① CC-EPOCカリキュラム管理者の同意：
「初期臨床研修プログラムへの提供設定」の可否を設定
（初期値は同意する）

② 学生医：学生自身のメニューから「実習履歴の提供設定」で同意を選択（初期値は未選択）

カリキュラム管理者、学生医双方の同意で提供される

連携の項目と尺度

「診療の基本」（平成28年版）から「評価票Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ」へ反映される項目

臨床実習：基本的な資質・能力（CC-EPOC）	1	2	3	4	5		
臨床研修：到達目標（PG-EPOC）				Level1	Level2	Level3	Level4
卒前・卒後一貫評価（共通）	A	B	C	D	E	F	G

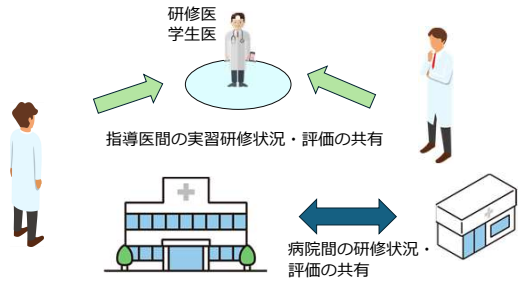
詳しくは
https://pg-epoc.umin.ac.jp/content/pdf/epoc2offer.pdf

連携の項目と尺度　基本的臨床手技

区分	評価項目	評価値 CC-EPOC	評価値 PG-EPOC
a	「介助する」とあるもの	1,2	空欄
		3,4,5	0
b	「できる」とあるもの	1,2	空欄
		3	0
		4	1
		5	2

詳しくは
https://pg-epoc.umin.ac.jp/content/pdf/epoc2offer.pdf

指導医間での情報共有・教育関連病院連携



指導医・上級医の教育実績の見える化

指導医の教育への貢献度を可視化し、適切な教員評価につなげる
指導履歴を臨床研修・実習カリキュラムを横断して集計可能

CC-EPOC管理画面

EPOCデータの研究利用と国際的発信

世界をリードする臨床研修データベース
- 全国の臨床研修データを網羅的に記録するシステムは、国際的にも極めて進歩的な取り組み

データサイエンスによる成長の可視化
- 全国規模の研修医データを活用した「成長軌跡growth trajectory」分析の報告（Nawa N, BMJ open 2024）

評価の妥当性・信頼性の学術的検討
- 蓄積されたビックデータに基づき、到達目標の設定や評価指標の妥当性を継続的に検証

公的研究事業として基盤構築
- ICTを基盤とした卒前卒後のシームレスな医師の臨床教育評価システム構築のための研究として推進

EPOCの今後

UMINセンターによるサポート体制の継続
- 運用を支える充実したQA対応
- 独自評価票など、柔軟なカスタマイズ機能

快適なシステム環境の構築（UI/UXの改善）
- 全ユーザー（研修医、実習生、指導医、メディカルスタッフ）向け画面の高速化対応
- 現場負担を軽減する直感的な操作

次世代のGeneral EPOC Platformへ
- 卒前から卒後、医師生涯にわたる一貫したポートフォリオの実現
- 日本全体の医師養成状況を把握する悉皆調査・データ分析の構築と活用